

市民調査がとらえた身近な里山の危機 ～モニタリングサイト1000里地調査10年の成果～

モニタリングサイト1000里地調査（以下、モニ1000）は、100年にわたり全国各地の市民の方と協力して自然環境のモニタリングを行い、保全につなげることを目的とした環境省事業です。全国約200カ所の調査地から得られた調査結果から、世界的な生物相の減少と同様に、日本の里山においても、身近な生物種の多くが減少している可能性が示されました。調査の成果を広く伝えるためのシンポジウムを開催します。

午前中のシンポジウムでは、調査で明らかになった里山の生き物たちの危機的状況をお伝えするとともに、午後には各地で活動する調査員の方々によるポスター発表会を行います。身近な里山の生き物たちのことや調査の様子も知ることができますので、ぜひお越しください。

日時

2020年1月12日（日）
10:00～16:00（受付9:30～）

参加費

無料

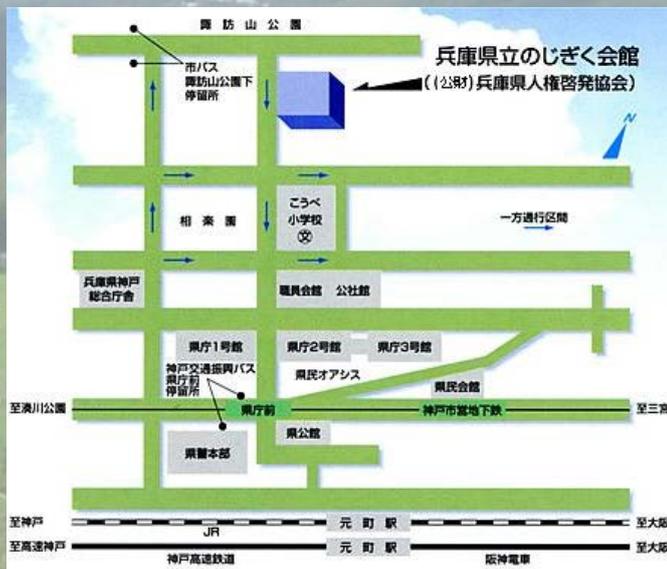
会場

兵庫県立のじぎく会館
大会議室201
（神戸市中央区山本通4丁目22番15号）

定員

100人（要申込み）

■ アクセス



（公財）兵庫県人権啓発協会ホームページより

神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車、徒歩5分

■ プログラム

| 時間 | 内容 |
|-------------|------------------|
| 10:00 | 開会のことば |
| 10:05～12:40 | 第1部 シンポジウム |
| 13:40～15:20 | 第2部 各サイトのポスター発表会 |
| 15:35～16:00 | まとめ・閉会のことば |

*プログラムの詳細は裏面をご覧ください

■ お申込み・お問合せ先

資料準備のため、事前申込にご協力ください。

〆切：2020年1月6日（月）まで

● 申込み方法

右記申し込みフォームまたは連絡先まで

- ①お名前、②お住まいの都道府県、③ご所属、
- ④メールアドレス等のご連絡先をお知らせください。

● 申込みフォーム：

<https://forms.gle/hYUyg6HC1cffXRnE6>



←QRコードからも
お申込みできます

● 連絡先

日本自然保護協会 モニ1000里地調査事務局
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F
Tel：03-3553-4104 Fax：03-3553-0139
E-mail：moni1000satochi@nacsj.or.jp

主催：環境省生物多様性センター・公益財団法人 日本自然保護協会

プログラム

■開会 (10:00)

■第1部 シンポジウム (10:05~12:40)



「第3期とりまとめレポートから見えてきた里山の現状」

—— 藤田 卓 (公益財団法人 日本自然保護協会)

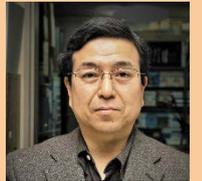
- 講演者プロフィール： 専門は植物生態学。技術士（環境部門）。
モニ1000里地調査のデータ解析を担当。



「普通種もいなくなる？チョウの全国調査の結果と世界的な昆虫の現状」

—— 石井 実 (大阪府立大学名誉教授・学長顧問、モニ1000里地調査検討会委員)

- 講演者プロフィール： 専門は昆虫生態学。環境省中央環境審議会委員。
昆虫や里地里山の保全生態学に幅広い識見をもつ。



「森から里まで 鳥類の全国調査の結果から」

—— 植田 睦之 (NPO法人 バードリサーチ代表、モニ1000里地調査検討委員)

- 講演者プロフィール： 専門は鳥類生態学。全国の鳥の調査に興味のある人と一緒に
日本の鳥の現状や変化を明らかにする活動を行なっている。



「地域の農業者との連携で、里地の生物多様性の守り人を増やそう」

—— 古谷 愛子 (NPO法人 オリザネット事務局長)

- 講演者プロフィール： 専門は農業生物多様性。各地の農業者と田んぼ、水路、林地など
の生物多様性を向上させる取組みを進めている。



■第2部 ポスター発表会 (13:40~15:20)

*ポスターを利用して、全国各地の調査員の方に調査活動の様子などを紹介いただきます

■まとめ・閉会 (15:35~16:00)



「モニタリングサイト1000里地調査」とは

「モニタリングサイト1000」とは、全国約1000カ所の調査サイトで100年間の自然環境モニタリング調査を目指す環境省事業です。「モニタリングサイト1000里地調査」は、2008年から日本自然保護協会と全国の市民調査員が協力して、現在では約240カ所の里山で調査が行われています。調査地では、調査活動のほかにも、里山保全活動や伝統的な暮らしの伝承など、積極的な取り組みが行われています。